

令和元年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会（第3回）  
開 催 要 項

- 1 日 時 令和元年11月18日（月）  
午前10時から正午まで
- 2 会 場 県庁中庁舎9階 企画管理部 会議室
- 3 次 第
  - (1) 開会のことば
  - (2) 県教育委員会あいさつ
  - (3) 委員紹介
  - (4) 報告
    - ①令和元年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会(第1回)の概要について
    - ②令和2年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項について
    - ③令和2年度千葉県公立高等学校入学者選抜における選抜・評価方法の公表について
    - ④令和元年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会専門部会からの報告について
    - ⑤その他
  - (5) 協議
    - ①令和3年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程（案）について
    - ②令和3年度千葉県公立高等学校入学者選抜以降の選抜方法等について
    - ③その他
  - (6) 閉会のことば

## 千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会設置要綱

### (設置)

- 第1 本県の公立高等学校入学者選抜方法等の在り方について検討するため、「千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会」（以下「協議会」という。）を設置する。

### (組織)

- 第2 協議会は、14名の委員をもって構成する。
- 2 委員の構成は次のとおりとする。
- |         |    |          |    |
|---------|----|----------|----|
| 大学関係者   | 2名 | 公立高等学校代表 | 2名 |
| 公立中学校代表 | 2名 | 公立小学校代表  | 1名 |
| 私立学校代表  | 1名 | 市町村教育長   | 2名 |
| P T A代表 | 2名 | 政令市教育長   | 1名 |
| 企業関係者等  | 1名 |          |    |
- 3 協議会には委員長及び副委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

### (委員の任期)

- 第3 委員の任期は1年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

### (専門部会)

- 第4 協議会は、専門的な調査研究を行うため専門部会を置くことができる。
- 2 専門部会の構成及び人数は協議会で決定する。
- 3 専門部会には主査1名を置くものとし、協議会の委員のうち公立高等学校代表の中から1名をこれに充てることとする。

### (庶務)

- 第5 協議会及び専門部会に関する庶務は、千葉県教育庁教育振興部学習指導課において処理する。

### (補足)

- 第6 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。
- 2 協議会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき法律又は条例により設置された附属機関ではない。

### 附則

#### (施行期日)

- 1 この要綱は平成31年4月1日から施行する。

#### (失効)

- 2 この要綱は令和4年3月31日限り、その効力を失う。

令和元年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会委員名簿

No.	氏 名	職 名	備 考
1	佐藤 智司	千葉大学副学長	
2	廣澤 正晃	淑徳大学 千葉キャンパス アドミッションセンター千葉オフィス室長	
3	藤田 和弘	株式会社 千葉測器ホールディングス 業務部総務課長	
4	佐藤 宰	千葉県立千葉高等学校長	
5	松村 智明	千葉県立小金高等学校長	
6	市東 努	東金市立東金中学校長	
7	安江 博昭	四街道市立千代田中学校長	
8	中澤 泰藏	木更津市立真舟小学校長	
9	佐久間 勝彦	千葉経済大学附属高等学校長	
10	小熊 隆	習志野市教育委員会教育長	
11	五十嵐正憲	東庄町教育委員会教育長	
12	磯野 和美	千葉市教育委員会教育長	
13	永井 豊和	千葉県高等学校PTA連合会 会長	
14	岡部 成行	千葉県PTA連絡協議会 会長	

# 資料 1

## 令和元年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会（第1回）【概要】 （案）

日時：令和元年7月5日（金）午前10時から正午まで

場所：千葉県教育会館6階 会議室604

### 1 出席委員（敬称略・名簿順）

佐藤 智司、廣澤 正晃、藤田 和弘、佐藤 宰、松村 智明、市東 努、安江 博昭、中澤 泰藏、佐久間 勝彦、五十嵐 正憲（委員長）、小熊 隆（副委員長）、磯野 和美、岡部 成行

### 2 次第

(1) 開会のことば

(2) 県教育委員会あいさつ

(3) 委員紹介

(4) 委員長、副委員長選出

(5) 報告

①平成31年度千葉県公立高等学校入学者選抜の結果について

②平成31年度千葉県公立高等学校入学者選抜における学習成績分布表等の公表について

③平成30年度千葉県公立高等学校入学者選抜における選抜・評価方法の公表について

④平成30年度千葉県公立高等学校入学者選抜における中学校及び高等学校からの意見について

⑤令和2年度千葉県公立高等学校第1学年入学者選抜要項について

⑥令和3年度県立高等学校入学者選抜以降の選抜方法等について

⑦その他

(6) 協議

①令和3年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程（案）について

②令和3年度千葉県公立高等学校入学者選抜以降の選抜方法等の在り方について

③令和元年度千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会専門部会の設置について

④その他

(7) 閉会のことば

### 3 協議内容

(1) 令和3年度千葉県公立高等学校入学者選抜日程（案）について

→ 令和3年度入学者選抜の日程について、案Aと案Bの二案を提示した。

・案A、案Bともに、出願の受付から志望希望変更に至るまでの間が非常にタイトな日程になっていると見てとれる。中学校側から考えると、出願し、報道発表されてから生徒たちと協議に当たるのだが、この日程では時間的に厳しい。できれば、もう少し生徒たちを指導する時間が確保された日程にしていたら、大変ありがたい。

・検査日を2月下旬と言っているわけだから、案Aの2月18日、19日は下旬には入らないと思う。現行の前期選抜の場合も2月15日頃という形でスタートしたのだが、毎年、祝日とか土日を避ける形で日程が変わっていた。今回も2月下旬としているのだから、2月20日以降ということ踏まえることが当然である。祝日や土日と言って、毎年動かし、2月15日位まで上がる可能性が無いとは言えないだろう。私立高校の入試については公立高校の本検査を踏まえて、現行よりは遅くしようと思っている。他県はわからないが、その年の土日で動くのではなく、土日に検査日になった場合は、振替休日を作ればよい。私立高校の入試はそうやっている。2月下旬としている以上、B案しかないと思う。

・私立高校の日程等も検討に入っているということで、公立も含めて入試が改善されるということになると思う。学校の特色、それから中学生が頑張った部分を評価するという理念は変わらないということなの

で、折角一本になったのだから、もう少し丁寧な評価のできる、選抜をしたらどうか。今までは入試が2回だったので、日程がとてもタイトであった。中学校側もすぐに願書を出さなければならない日程であったと思う。中学校側から、志願変更の日程を考えてほしいという意見や休み明けの検査はやめてほしいと意見があった。また、今後も第2日の検査についても得点化するということであるから、もう少しきちんといろいろな検査を丁寧に見ることができるようにしたい。学力検査でも、もう少し考える力や思考し表現する力も見たいということであるので、追検査も実施しなければならないとなると、本検査から発表まで5日しかないという日程は、学力検査の採点や第2日の評価のことを考えると本検査のあとの時間的な余裕がもう少し欲しい。そうすることで、生徒たちの評価をしっかりとやりたい。中学校側からも、志願変更の日程にもう少し余裕をもたせて欲しいということがあった。祝日等で日程を決めることがなかなか調整しづらいところではあるが、一つは検査自体を出願から発表までを少し長めにとるということを検討材料としていただきたい。ただ、発表はできるだけ早くしていただきたい。

- ・国立大学は、一般入試の前期日程が2月25日となっている。高校入試と大学入試が同日に実施されると不都合ではないかが心配である。千葉県は、東京、埼玉、神奈川より遅く一本化をする。であれば東京、埼玉、神奈川がどの日程で実施しているかを調べ、大学入試は土日であろうと2月25日前期入試と決まっているので、千葉県の高校入試も2月何日だと決めれば、このような議論をしなくてもよいと思う。
- ・他県の情報を集めながら、検討していきたい。

## (2) 令和3年度千葉県公立高等学校入学者選抜以降の選抜方法等の在り方について

- ・令和3年度入学者選抜以降の選抜方法等の在り方について説明した。
- ・選抜のための資料について説明があったが、これらをどのような形で各校の特色を出すことができるのか。どのような選抜を実施することができるのか。
- ・入学者選抜の資料というのは、学力検査の成績、調査書、学校が定めた第2日目に行われる検査の結果を資料として選抜を行うということである。これについて今後つめていきたい。
- ・生徒の優れた面を多元的に評価する選抜を推進してほしい。同時に、各学校が特色を出して頂けると思うが、評価の方法をわかりやすく公表して欲しい。
  - ・選抜の基準の一つで調査書の評定というのがあるが、その調査書について、昨年度を見るといろいろなところで調査書の変更についての意見が出ているようだ。学習指導要領が改訂になることで調査書の様式の変更があるのであれば教えてほしい。変更があるならば、中学校側ではシステム化を進めている。変更があるなら早めにどのように変わっていくのかを知りたい。
  - ・本検査、追検査を踏まえて、合格者を発表することになっているが、本検査と追検査では問題が違う。その際、どのように合格者を決定するのか、この件については追検査を受ける受検生、中学校、保護者にとっては一番の関心事ではないかと思う。現在はインフルエンザでも受検しているから、体調が悪くても同じ検査問題でやっている。追検査を実施すれば問題は異なる、調査書は同じ。その場合どうやって合格者を決めていくのか、大きな問題となる。各学校が総合的に各学校の校長に任せるという形でいいのか。結果として、追検査を受けた人数がそれぞれの学校で報告される。そうすると追検査で合格するものが何名ということも報告されると思うが、そうするといろいろな問題が検査後に生じる。合格者がある学校では何名、ある学校では何名といった形で発表されると、その理由はという問題になる。これも他県の様子を調査し、公平な方法を検討し、報告して欲しい。

## (3) 令和元年度千葉県公立高等学校入学者選抜等改善協議会専門部会の設置について

- ・専門部会設置の目的と構成及び人数について説明した。  
(意見等なし)

#### (4) その他

- ・令和3年度の入試日程について案A、案Bが出たが、これは、中学校、私立学校、高校、それぞれの立場で検討して良いということか。その検討した結果を、次回の協議会にもってくと理解してよいか。
- ・そのようにしていただきたい。
- ・さかのぼっての質問だが、本日の資料3の選抜・評価方法についてだが、前期・後期にわかれて示されているが、この資料は高校が公開するためのひな形なのだろうか。
- ・その通りである。
- ・前期選抜は細かく書かれていてわかりやすいが、後期選抜は、評価が詳細に書かれていなくて、点数についてのことも前期選抜のように示されていないかと思うのだが。
- ・後期選抜については、実施要項に則り、共通の選抜方法で全校が行っている。

令和 2 年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号

千葉県立

高等学校

制の課程

科

1 期待する生徒像

次の全てを満たす生徒

ア 基本的な生活習慣が身に付いており、高校生活に真面目に取り組むことのできる生徒

イ 本校への志望の動機が明確であり、学習活動・部活動・学校行事等に積極的に取り組む生徒

ウ 部活動等に優れた実績を持ち、高校入学後も引き続き部活動に取り組む強い意志のある生徒

2 選抜資料

(1) 学力検査	5 教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者 6 名・評価者 2 名の集団面接 検査時間：1 グループ 15 分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500 点満点]

評価項目	評価基準
ア 5 教科の得点合計	5 教科（各教科 100 点満点）の合計 500 点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	30 点以下の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書 アの数値に、イ及びエについて加点（上限 50 点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式 1 で求めた数値で評価する。 評定 1 または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3 か年皆勤である場合は加点する。
ウ 行動の記録	総合的に判定する際の参考とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接 [40 点満点]

2 名の評価者が、次の 4 つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の 3 段階で評価する。

a を 5 点、b を 3 点、c を 1 点とし、2 名の評価者の評価（各 20 点満点）を合計し、得点化する。評価 c が 3 つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について明確に回答することができる。 将来の進路希望等について、具体的に回答することができる。
エ 身だしなみ・態度	基本的な面接作法が身に付いている。 服装・頭髪等身だしなみが整えられている。

#### 4 選抜方法

##### (1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査の得点」を全て合計した「総得点」合計した「総得点」により順位をつけ、各選抜資料の評価等について慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

＜総得点の満点の内訳＞

学力検査 の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点	総得点
	評定(算式1)	加点	面接	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	50点	40点	$(725 + \alpha - m)$ 点

(算式1)  $\alpha$  : 県が定める評定合計の標準値95

$m$  : 中学校評定合計平均値

##### (2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

イ 入学許可候補者に内定した者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

#### 5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。



## 記載例

### 令和2年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号  
千葉県立 高等学校 制の課程 科

#### 1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書

#### 2 評価項目及び評価基準

##### (1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

##### (2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。
イ 出欠の記録	総合的に判定する際の参考とする。
ウ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項については、総合的に判定する際の参考とする。
エ 総合所見	総合所見については、総合的に判定する際の参考とする。

#### 3 選抜方法

##### (1) 選抜の方法

令和2年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

##### (2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

#### 4 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。

令和元年度 千葉県公立高等学校入学者選抜方法等改善協議会専門部会  
報告

- 1 日時 第1回：令和元年7月25日（木）午後1時30分から午後4時30分まで  
第2回：令和元年8月26日（月）午前9時30分から正午まで  
第3回：令和元年10月31日（木）午前9時30分から正午まで

- 2 専門部会委員  
主査（1名）

氏名	勤務校	職名	備考
松村 智明	県立小金高等学校	校長	

中学校関係者（5名）

氏名	勤務校	職名	備考
中條 專一	成田市立西中学校	校長	副主査
三橋 良一	成田市立下総みどり学園	教頭	
高井 亮一	佐倉市立志津中学校	教頭	
加藤 亮二	九十九里町立九十九里中学校	教諭	
森 孝行	芝山町立芝山中学校	教諭	

高等学校関係者（5名）

氏名	勤務校	職名	備考
太田 恭正	県立柏高等学校	校長	副主査
齋藤 則夫	県立船橋高等学校	教頭	
中村 孝幸	千葉市立千葉高等学校	教頭	
増田 覚	県立船橋啓明高等学校	主幹 教諭	
山本 晴久	県立流山おおたかの森高等学校	教諭	

## 資料 4

## 千葉県公立高等学校入学者選抜日程比較(令和2年度選抜及び令和3年度選抜案A,A'案B,B')

令和2(2020)年度選抜 (発表済)			令和3(2021)年度選抜		令和3(2021)年度選抜		
			案A	案A'	案B	案B'	
2月	1	土					
	2	日					
	3	月	前期受付				
	4	火	前期受付				
	5	水			出願受付		
	6	木					
	7	金					
	8	土			出願受付		
	9	日		出願受付			
	10	月		出願受付			出願受付
	11	火	建国記念の日	11 木 建国記念の日	建国記念の日	建国記念の日	建国記念の日
	12	水	前期選抜	12 金	志願変更		出願受付
	13	木	前期選抜	13 土			
	14	金		14 日			
	15	土		15 月	志願変更	志願変更	出願受付
	16	日		16 火	志願変更		出願受付
	17	月		17 水			志願変更
	18	火		18 木	本検査	本検査	志願変更
	19	水	前期発表	19 金	本検査	本検査	志願変更
	20	木	確約書締切	20 土			
	21	金		21 日			
	22	土		22 月	追検査受付	追検査受付	
	23	日	天皇誕生日	23 火	天皇誕生日	天皇誕生日	天皇誕生日
	24	月	振替休日	24 水	追検査受付	追検査受付	本検査
	25	火	後期受付	25 木			本検査
	26	水	志願変更	26 金	追検査	追検査	追検査受付
	27	木	志願変更	27 土			
	28	金		28 日			
	29	土					
3月	1	日	1 月			追検査受付	
	2	月	後期選抜	2 火	発表	発表	
	3	火		3 水		追検査	追検査
	4	水		4 木	2次受付	2次受付	
	5	木		5 金	2次志願変更	2次志願変更	発表
	6	金	後期発表	6 土			発表
	7	土		7 日			
	8	日		8 月			
	9	月		9 火	2次検査	2次検査	2次受付
	10	火	2次受付	10 水			2次志願変更
	11	水	志願変更	11 木	2次発表	2次発表	
	12	木		12 金			2次検査
	13	金	2次検査	13 土			2次検査
	14	土		14 日			
	15	日		15 月			
	16	月		16 火			2次発表
	17	火	2次発表	17 水			2次発表
	18	水		18 木			
	19	木		19 金			

## 令和 3 年度入学者選抜以降の選抜方法等について

## 1 選抜の理念

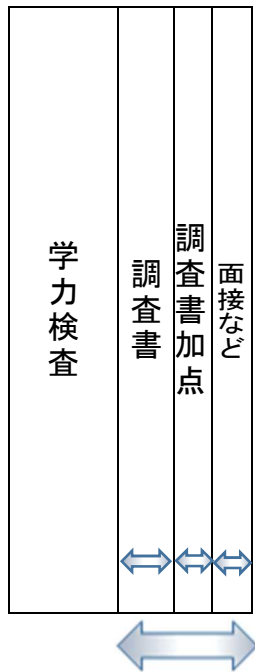
生徒の多様な能力・適性・努力等の優れた面を多元的に評価する
-------------------------------

## 2 選抜方法

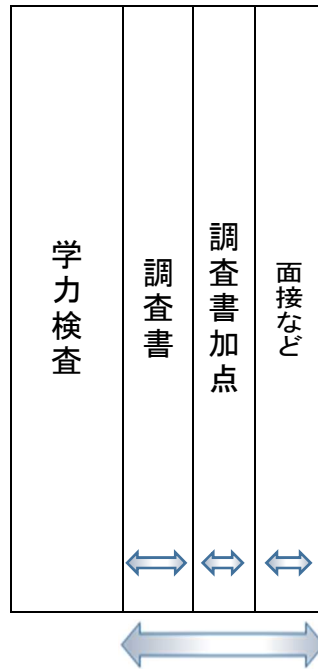
「学力検査の成績」、「調査書の評定の全学年の合計値及びその他の記載事項」、「各高等学校において実施した検査の結果」等を選抜の資料とし、各高等学校が総合的に判定して入学者の選抜を行うものとする。また、選抜の資料は原則として得点(数値)化するものとし、各高等学校は、選抜の手順、各選抜資料の配点等を定め、選抜・評価方法として公表する。

学力検査	調査書		学校ごとの検査
	評定合計値	記載事項	
国語 社会 数学 理科 英語	国社数理英音美体家 9教科×5点×3学年	〇〇2級 生徒会役員	面接、集団討論、自己表現、 作文、小論文、適性検査、学 校独自問題、その他の検査
(500点)	(135点)	<u>〇〇点</u> 各校で定める	<u>〇〇点</u> 各校で定める

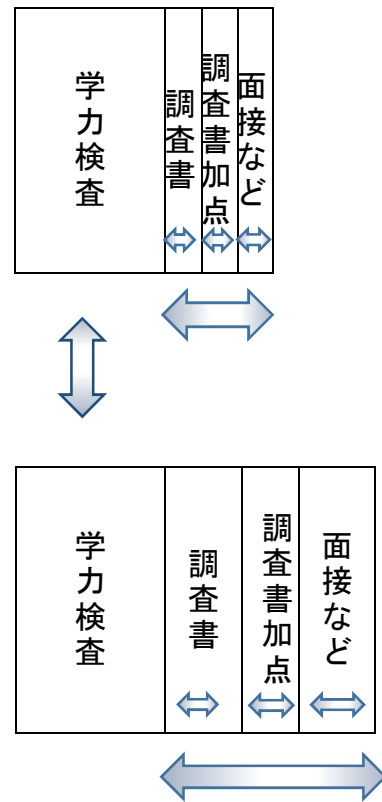
① 学力検査の成績を重視する選抜



② 特別活動等に重点を置く選抜



総得点での選抜の①、②の両方を組合わせた選抜



# 調 査 書

受検番号	ふりがな		性別	学籍の記録	平成・令和 年 月 入学・転入学・編入学														
*	氏名				平成・令和 年 月 卒業見込み・卒業														
教科の学習の記録	教科	必修教科の評定								選択教科の評定									
		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語	合計	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭
	学年																		
	第1学年																		
	第2学年																		
	第3学年																		
全学年の計																			
備考																	中学校評定合計平均値		
総合的な学習の時間	第1学年																		
第2学年																			
第3学年																			
出欠の記録	学年	欠席日数	欠席の主な理由等																
第1学年																			
第2学年																			
第3学年																			
行動の記録 (第3学年)	基本的な生活習慣			健康・体力の向上			自主・自律			責任感			創意工夫						
	思いやり・協力			生命尊重・自然愛護			勤労・奉仕			公正・公平			公共心・公德心						
特別活動の記録	学級活動																		
生徒会活動																			
学校行事																			
部活動の記録																			
特記事項																			
総合所見																			
本書の記載事項に誤りがないことを証明します。																			
																中学校長	印		
			令和 年 月 日	記載責任者			職 氏名									印			